

# 市民参加の市政めざし

## 地区懇談会を実施

三月から自治会対象に

市は、市民の皆さんから市政に対する要望や意見を聴く「地区懇談会」を、三月から実施します。

市民本位の市政を実現するためには、まず、市民が市政に対して何を望んでいるかを知ることが基本であり、そのためには、市民との対話は欠かせない重要なものです。それには、市民と直接話し合いができる「場」が必要であり、この話し合いの場が「地区懇談会」です。

この地区懇談会は、市長がその地域に出向いて、市民から直接市

政に対する要望、意見等を聴き、市政に反映していくこうとするものです。

地区懇談会の実施は、三月から各自治会（単位あるいは複数の自治会）を対象に実施していきます。順次、婦人会、老人クラブなどの各種団体を対象に幅広く実施する予定です。

懇談会は、日曜日、祝日を除き毎月二回程度行い、会場は地区の公民館、集会所等を利用、懇談の時間は二時間以内です。

懇談会で出た意見や要望は、できる限りその場で回答しますが、回答できないものについては、後日文書で回答いたします。開催日は、原則として希望のあ

った日に実施しますが、市長の日程の都合によって調整することがあります。

地区懇談会の申し込みは、支所出張所にある「地区懇談会申込書」を市秘書企画課広報公聴係に、開催希望日の十五日前までに提出してください。

市民の声一つ一つを市政に反映させるため、有意義な地区懇談会にしたいと思えます。誰でも自由に参加できます。お気軽にお出かけ、市政に対する意見や要望をお聴かせください。

## 318人が成人の仲間入り

### 華やかに日光市成人式



▲活力ある日光を築く原動力に……とあいさつする 齋藤市長

▲仲間と語り合う新成人者たち



▲社会のために役立つ人間に……と 添田佳子さん

社会人としての仲間入りを祝う日光市成人式が、一月十五日の「成人の日」に日光市総合会館で行われました。

この日、成人者として祝福された方は男百七十六人、女百四十二

人の合わせて三百十八人です。華やいだ雰囲気の中にも厳粛に行われた式典では、齋藤市長が「成人になったことを契機に、時代の推移を見つめ、自己完成に向けてより一層教養と英知をかんようされ、誇りと責任をもって、明日の社会、そして、活力ある日光を築く原動力になってください」とあいさつしました。また、岸野県議会議長、高松市議会議長からも、温かい励ましのことが贈られました。

このあと、成人者を代表して、高田悌行さん（松原町）と添田佳子さん（下鉢石町）が、誓いのことばとお礼のことばで「成人になったことを機会に、自分の行動に責任と信念を持ち、聡明な人間になるよう努力したい。そして、社会のために役立つ人間になりたい」とあいさつ、式を終了しました。

船田県知事の開会宣言に続いて前回総合優勝の滋賀県から、天皇杯、皇后杯が返還され、大会会長、文部大臣（代理）のあいさつのもと、齋藤市長が歓迎のあいさつをしました。そして、常陸宮殿下のおことばの後、選手団を代表して本県成年アイスホッケーの佐藤欣三主将が力強く宣誓をして式を閉じました。

開会式終了後、日光スケートセンターでは、市内の幼稚園児、小学生とその父兄七百人が、手に色とりどりの風せんを持ってスケートリンクを披露、開会式に花を添えました。四日間にわたって各競技に熱戦を展開した冬季団体も、二十九日に無事終了。同日午後三時から総合会館で行われた閉会式では、アイスホッケー競技で総合三位になった栃木県に賞状が授与されました。

続いて、山口久太大会委員長が「若い力」「栃木県民の歌」の合唱のあと、来年の開催県となる「群馬県歌」を合唱し、四日間にあつた大会の幕を閉じました。

団体関係は三月号でお知らせする予定です。表紙シリーズ「市民の中に生きる文化財」は、都合により、今号は休ませていただきます。